

やえせ桜まつり

まつりが2月7日(土曜日)、8日(日曜日)、八の行楽者が訪れました。今年は、例年にはな会やプロレスショー、沖釣り大会、フォトコのお客さんを楽しませました。

八重瀬之酒振る舞う

地元神谷酒造所の熟成古酒「南光」を甕に仕込みまつり会場において来場者に振舞う企画も行われました。この酒を「八重瀬之酒(エージヌザキ)」と銘々。年に一度さくら祭りの日に振舞われ、来年に備えてお酒を注ぎ足し、八重瀬公園の桜とともに味わい深い古酒に仕上げていきます。甕は、町内坡名城在住の陶芸家垣花陽一さんから寄贈されました。1月20日には、役場庁舎内で贈呈式も行われました。垣花さんは「年を重ねるごとにいい酒になることを期待したい」と話しました。



◀垣花陽一さん(写真右)と中村町長

汗水節大会

旧具志頭村出身の故・仲本稔氏が作詞し、宮良長包氏が作曲した名曲を競い合う汗水節大会も行われました。町内外から20人が参加し、自慢の歌声を競い合いました。



沖縄プロレス

ハブやキジムナー、ゴーヤーなど沖縄キャラのレスラーたちが、コミカルなプロレスを展開し、会場を大いに沸かせました。



「南部の桜の名所として」

「南部の桜の名所として」第3回やえせ桜重瀬公園内で開催され、町内外から約2万人のイベントが多数用意されました。汗水節大コンテスト、ふれあい動物園などが行われ多く

表彰式



地元富盛に伝わる伝説の金浦戸(カニカマルー)にちなんだ力自慢大会や祭り初日に行われた釣り大会、八重瀬の桜や自然風景などの写真を集めたフォトコンテストなども行われました。まつり2日目には、表彰式が行われ、最優秀者に賞状と記念品が贈られました。

舞台イベント



舞台イベントには、東風平棒術保存会や友寄獅子舞保存会から棒術や獅子舞などの伝統芸能が披露。また、ピエロ「フンブン」による風船ショー、大城友弥ライブ、富盛青年エイサーなどが用意され会場を大いに盛り上げました。



まつり会場内には、多くのテナントが軒を連ねる中、地産地消コーナーも設けられ、八重瀬町産の農産物が並べられ多くの買物客で賑わいました。また、南部商業高校マーカーティング部のピーマン発した八重瀬町のピーマンを使ったピーマンそばを販売。お昼すぎには完売するなど大盛況でした。

フォトコンテストを開催!

3部門の

最優秀受賞者の作品

タイトル「いい馨り」

さくら部門



■北谷祥さん



第3回やえせ桜まつり記念フォトコンテストを開催するにあたり、3部門（さくら部門、自然風景部門、その他風景部門）ごとに公募を行ったところ町内外から25点の作品の応募がありました。まつり1日目において来場者の方に投票してもらいそれをもとに部門ごとに最優秀賞を決めました。



「八重瀬から見える朝日」

タイトル

自然風景部門



■兼城秋男さん

タイトル

「この町は僕がまもる!」

その他風景部門



■知念愛佑美さん

心温まるライトアップ



1月20日から2月10日までの期間、八重瀬公園内では、200個の行灯と10個の照明によるライトアップを行いました。今回は、各保育園児たちや一般の方々から手作りの作品が階段や展望台に設置され、訪れた人たちを心温まる雰囲気させていました。